



まだの方は、是非一度。

既に行った方は、もう一度。

少林寺拳法復興支援陸前高田チームに、ご参加ください。

皆様の力を貸してください

復興は進んでいるの？

昨年 12 月 23 日、陸前高田市災害ボランティアセンター（陸高災害ボラセン）は、市民からの支援要請が少なくなってきたとして閉所されました。その開設期間中、少林寺拳法復興支援陸前高田チームは、約 2,500 人を動員しました。その数は陸高災害ボラセンで活動したボランティアのおよそ 2%にあたります。中でも、秋田の拳士の活躍は目を見張るものがあります。是非「はちどりの詩」の映像（<http://tinyurl.com/l4frbr7>）で同志の姿を見つけてください。

今の陸前高田は、外部の支援に頼りきりになるのではなく、市民や業者と行政などが、自助共助互助によって復興を進めていく新たな段階に来ていると言われています。

確かにがれきに埋まっていたあの頃と比べたら、ずいぶん景色は変わりました。けれどもまだまだ、間違っても「復興」と言えるような状況ではなく、浸水地域は荒野のままです。人口約 2 万 4 千人の陸前高田市は、1,556 名が亡くなり 217 名の行方が未だわかっていません。震災孤児は 40 名以上、震災遺児はおよそ 150 名にもものぼるといわれています。多くを失い傷ついた人たちには、当然のことながら長期にわたっての支援が必要です。



市街地だった場所は雑草に覆われて

「街の復興」と「心の回復」、そのいずれもが、全く先の見えない状況です。元気そうにしている子供たちだって……。

「忘れないで」……それが被災地の願い



毎日あれだけ多くのボランティアが訪れていたのに、今では閑散としています。「忘れられてしまった……」、そんな風に思ってしまう。長く険しい復興への道程を歩く辛さが少しでも軽くなるように、「忘れていない」、「応援している」そんなメッセージを送り続けたいものです。

拳士として！ 東北人として！！

「応援している」その思いを形に表して伝えるためには、現地へ行くことが一番です。

現地を訪れる人が少なくなってしまった今だからこそ、「自他共楽」の思いで「平和と福祉に貢献」しようと行動する拳士として、隣県に住む同じ東北人として、寄り添いふれあうべきなのではないでしょうか。

少林寺拳法復興支援陸前高田チームは、陸高災害ボラセンの活動を引き継いだ陸前高田市復興サポートステーション(サポステ、SS)を新たな受け入れ窓口として、使命感に燃えた活動を続けています。

たとえば、浸水地域の多くの側溝は、いまなお、津波によって運ばれたヘドロに埋まっています。もしかするとご遺体の一部と一緒に埋まっているかもしれません。けれどもまもなく嵩上げ工事が行われます。そうなるしまえば、もう永久に掘り出すことはできません。そうではあっても大きな意思によって工事は進んでいきます。時間との勝負なのです。

いろいろな考え方があるでしょう。けれども、誰かの何かを探しながら泥出し作業をすることの意義は大きいのではないのでしょうか。さらにまた、御霊が眠り市民の思い出あふれた高田の街が水浸しの荒野になってしまわないように少しでもきれいにするには、市民の心に寄り添う行為だと思います。一見無駄かもしれないそんな作業に汗する外部ボランティアの姿を見て、陸前高田市民の皆さんが「応援されている」と感じてくれれば、何にもましてうれしいことではありませんか。実際、活動中に行き交う方の多くが、私達ボランティアに感謝の言葉をかけてくれるのです。

出来る事を できる時に。

○ 一人で参加する場合

一斉に多くの人数で活動することは、メッセージ性が高くまた作業も捗りますから素晴らしいことですが、ご自分の都合に合わせて一人であるいは2〜3人で現地を訪れることは、常に秋田の誰かが行っているという状況を生み出すことのできる有意義なものです。少林寺拳法復興支援陸前高田チーム <http://www.shorinjikempo-skv.com/>で是非。

まずは、埼玉入間道院長の畠山先生にメールで予定をお伝えください。 makoto@mxj.mesh.ne.jp

宿泊を希望される場合には、畠山先生に少林寺拳法拠点での宿泊手配をお願いしてください。

事前に、居住地の社会福祉協議会で保険（天災 A 460 円）に加入してください。

当日は、午前 8 時 20 分の朝礼に間に合うように、復興サポートステーション(SS)へお越しください。

SS の地図などはこちら <http://pact-rt311.org/contactaccess-2/>です。

活動内容は、当日決定されます。また当日の活動は、15 時に終了です。

○グループで参加する場合



杉山先生が、重機を持ち込んで強力な活動を行っています。多くの拳士がまとまって活動すれば、さらに大きな意義が生まれます。少林寺拳法最大の特徴である「組織力」と「行動力」の発現が楽しみです。

(<http://www.shorinjikempo-skv.com/movie/支援活動シーン/>)

グループで活動する場合には、1 週間以上前に SS への申し込みが必要です。

畠山先生に予定をお伝えいただき打ち合わせをしたうえで、SS に申し込みをお願いします。

詳細はこちら <http://pact-rt311.org/saposute/>でご確認ください。

○「ヤルキタウンでかだたんせ」に参加する場合

松浦先生が率いている「ひまわりプロジェクト」等を中心とする秋田県のコンボチーム（湯沢スポ少、山王スポ少、平鹿スポ少、南スポ少、泉スポ少、秋大、高専、大館、等）が、少林寺拳法復興支援陸前高田チームでの活動と併行して、民間コミュニティ施設で子供支援と傾聴活動などを行っています。詳細は、<http://tinyurl.com/7vvptp6> で。

